

第11回
認知症について

いきいき健康情報

このコーナーでは、市民の皆さまの健康づくりに役立つ情報を掲載します。

認知症について正しく理解しましょう

認知症は誰でもかかる可能性のある病気です

2010年現在、日本にいる認知症高齢者は約208万人とされています(65歳以上の人口の7.2%)。さらに、2025年には323万人になると推計されています(同9.3%)。認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です。

認知症はどんな病気?

認知症は脳に起きた障害によって、もともと備えられていた知的・精神的能力が低下し、日常生活を送ることが困難になる病気です。認知症の種類にはアルツハイマー型認知症と、脳血管性認知症があります。

アルツハイマー型認知症は脳の神経細胞が変性・死滅し、脳が萎縮して機能が失われる病気です。ゆっくりと進行するため、周囲の人が気づいたときには既に重症化していることもあります。70歳以上で発症しやすく、女性に多いと

いわれています。

脳血管性認知症は、脳梗塞、脳の血管障害など、脳への血流が悪くなり、脳細胞が死滅して起こります。60〜70歳で発症しやすく、男性に多いといわれています。

認知症の初期症状

認知症の初期症状である見当識障害と記憶障害は、並んで早くから現れる障害です。見当識障害は、予定していた時間に合わせて準備ができない、今日の日付を何回も尋ねる、季節感のない服を着るなどの症状があります。

認知症は治療が不可能な病気?

認知症は、早期に発見して治療やケアを受ければ、症状を軽減したり、悪化をある程度防ぐことができます。専門医の受診・診断と適切な治療が必要です。

「認知症は本人には自覚がない」は大きな間違いです

認知症の症状に、最初に気付くのは本人です。物忘れによる失敗や、普通にできていたことができなくなり、なんとなくおかしいと

不安を感じ始めます。誰よりも一番心配しているのは本人です。

◆必要なのは温かいコミュニケーション

認知症は記憶障害が進行していく一方、感情やプライド、その人らしさは保たれます。認知症の人と接するときは、話をよく聞く、笑顔でうなずく、スキンシップをとるなどの接し方をするように心がけましょう。また、家族は、介護を自分たちだけで抱え込み、疲れ果ててしまうことも少なくありません。介護者を支援していくためには、家族の気持ちを周囲が理解していくことが大切です。保健・医療・福祉のサービスを積極的に利用し、地域で介護を分担することが必要になってきます。



次世代エネルギーを活用したまちづくり

今回は、次世代エネルギービジョンの具体的な事業として、「スマートハウス(モデル)実証事業」について、皆さんにご紹介します。

本市では、川内駅東口近くの市有地に次世代エネルギーに関する具体的な設備などを備えたスマートハウスを建設中です。

本ハウスは、エネルギーに対する意識の向上と新しく快適な生活様式を提案することを目的に造られています。

また、来訪者が広く創エネ・蓄エネ・省エネを体感できる設備を導入します。

テージに合わせて「変化できる」暮らしの3つの視点でデザインしています。

また、本ハウスの建設にあたり、市内外の5団体10企業が設備などの無償貸与や施工協力に参加しています。併せて、本ハウスにおいて、一般社団法人デジタルグリッドコンソーシアムおよび東京大学との産学官連携により、省エネルギーを達成しつつ、快適な住環境を実現する新しい生活様式を提案する実証実験も実施予定です。

設備はどんなものがあるのかしら?



水枝さん

主な導入設備

- ① 太陽光発電システム
発電出力10・5KW
- ② 家庭用燃料電池
発電出力700KW
- ③ 家庭用蓄電池
蓄電容量5・53kWh×2
- ④ HEMSによる電力の見える化
電力使用量を可視化
- ⑤ 地中熱ヒートポンプシステム
冷暖房出力10kW×2
ボーリング100m×3

開館時間など

- 【開館時間】11時〜17時
- 【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)および12月29日から1月3日
- 【入館料】無料
- 【その他】さまざまなイベントを開催する予定です。お申し込みの上、ご参加できます。

Vol.10

今後の展開

スマートハウスは8月中の完成を目指しています。順調に運ぶと9月初旬のオープンセレモニー後、一般公開する予定です。市民の皆さまが気軽に集い、エネルギーを身近に体感できるとともに、本市の未来や暮らしをテーマとした対話・体験プログラムを計画するなど、地域活性化の拠点施設を目指して運営していく予定です。

完成するのが楽しみだね!



ひかりちゃん 風太くん

▲スマートハウスの内観イメージ



【問合せ】=本庁 新エネルギー対策課 新エネルギー対策グループ ☎(23)5111(内線5521、5522)

【相談先】=市民健康課(川内保健センター内) ☎(22)8811
薩摩川内市地域包括支援センター ☎(24)3331